

キャリアアップガイド（水道分野技術職）

職 種	水道分野技術
主な職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道及び工業用水道の事業計画 ・ 水道及び工業用水道施設工事の設計・施工管理 ・ 水道及び工業用水道施設の維持管理 ・ 水道及び工業用水道の浄水場の運転管理
主な配属先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業庁本庁 ・ 水道事務所、浄水場、水質試験所
めざす職員像	水道分野技術職として、高い専門能力と幅広い知識を持ち、広い視野で自ら考え行動することができる職員

＜育成の考え方＞

- ・ 水道事業及び工業用水道事業における多様な分野を経験させ、幅広い視野や知識とともに専門性を身に付けさせるため、本庁、水道事務所、浄水場、水質試験所間の人事異動を行い、事業を一貫して担える職員を育成する。
- ・ 水道及び工業用水道の事業計画、施設工事の設計・施工管理、施設の維持管理及び浄水場の運転管理について知識の習得、技術の向上を図るため、業務研修の受講機会を確保する。
- ・ 水道及び工業用水道の維持管理等に必要な資格の取得を奨励する。

＜主な職務内容別の方針＞

〔事業計画〕

本庁と地方機関を経験させ、実務経験を通じて、事業計画に関する専門能力とともに、事業の課題に適切に対応できる企画・調整・指導力を兼ね備えた職員の育成を図る。

〔施設工事の設計・施工管理〕

地方機関において現場を経験させて、施設工事の設計・施工管理の専門能力を身に付けさせるとともに、本庁を経験させて企画・調整・指導力を身に付けさせ、広い視野で自ら考え行動することができる職員の育成を図る。

〔施設の維持管理〕

地方機関において現場を経験させて、施設の維持管理の専門能力を身に付けさせるとともに、本庁を経験させて企画・調整・指導力を身に付けさせ、広い視野で自ら考え行動することができる職員の育成を図る。

〔浄水場の運転管理〕

浄水場において現場を経験させて、浄水場の運転管理の専門能力を身に付けさせるとともに、本庁を経験させて企画・調整・指導力を身に付けさせ、広い視野で自ら考え行動することができる職員の育成を図る。

《キャリアイメージ》

区分	水道関係技術		水道関係技術	
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力	取得が望ましい資格等	受講すべき研修等
新規採用	<p>基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。</p> <div> <div>【本庁】</div> <div>水道計画課、水道事業課</div> <div>【地方機関】</div> <div>水道事務所、水質試験所</div> </div>	<p>【採用3年目まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道関係技術職員としての基礎固め 水道・工業用水道に係る法令の基礎知識 水道・工業用水道施設工事の設計・施工管理に関する基準等の基礎知識 水道・工業用水道施設の維持管理に関する基準等の基礎知識 水道・工業用水道の水質管理に関する基礎知識 水道・工業用水道の水質管理に関する基礎知識 	<ul style="list-style-type: none"> 危険物取扱者（乙種第4類） 床上操作式クレーン運転技能 玉掛け技能 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 電気主任技術者（第2種及び第3種） 電気工事士（第1種） 小型船舶操縦士 廃棄物処理施設技術管理者 特別管理産業廃棄物管理責任者 エネルギー管理員 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 	<p>【水道研修計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道一般研修 水質一般研修 水道技術者研修（基礎・応用） 水道業務体験研修 維持管理における危機管理研修 浄水場現場研修 電気主任技術者試験対策研修 電気主任技術者（第2種）通信教育研修 電気実務研修 水質現場研修 浄水場設備基礎研修 水処理研修 CAD研修 設計・監督研修（基礎・一般）
技師・主任 （採用後8年間）	<p>水道関係の基礎的な技術・知識を習得するとともに適性を見出すため、下記の内容を経験できるよう計画的に異動を行なう。</p> <p>①可能な限り、3ヶ所の所属を経験する。 ②可能な限り、異なる部門を経験する。 ③可能な限り、本庁を経験する。</p> <div> <div>【本庁】</div> <div>水道計画課、水道事業課等</div> <div>↔</div> <div>【地方機関】</div> <div>水道事務所、浄水場、水質試験所</div> </div> <p>水道関係技術職員としての素地をつくり、的確に業務を行い、組織の一員として自らの役割を果たす職員をめざす。</p>	<p>【採用8年目まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道・工業用水道施設工事の設計・施工管理に関する法令、基準等の専門知識・指導・監督能力、設計・積算能力 水道・工業用水道施設維持管理に関する法令、基準等の専門知識・技術 水道・工業用水道の水質管理に関する専門知識・技術 水道・工業用水道の水質管理に関する専門知識・技術 水道・工業用水道の水質管理に関する専門知識・技術 		
主任級 （9年目以降）	<p>職務分野の偏りが無いように幅広い職務経験を重ねるための異動を行なうとともに、できる限り本人の意向や能力・適性に応じた異動を行なう。</p> <div> <div>水道・工業用水道に係る</div> <div>事業計画 ↔ 設計・施工管理 ↔ 維持管理 ↔ 運転管理</div> </div>	<p>【採用9年目以降主査級昇任まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い職務経験 的確に業務を行い、組織の一員として自らの役割を果たすために必要な知識・能力 		
主査級	<p>課題を設定し自ら取り組むことにより、水道関係技術職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに実務の中心的役割を担う職員をめざす。</p> <div> <div>○本庁と地方機関を経験 ○実務経験を通じ事業計画の専門能力を修得 ○事業の課題に適切に対応できる企画・調整・指導力を修得</div> <div>○地方機関において現場を経験 ○設計・現場管理等の専門能力を修得 ○本庁を経験し企画・調整・指導力を修得</div> <div>○地方機関において現場を経験 ○維持管理の専門能力を修得 ○本庁を経験し企画・調整・指導力を修得</div> <div>○浄水場において現場を経験 ○運転管理の専門能力を修得 ○本庁を経験し企画・調整・指導力を修得</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力 受水市町・企業、関係機関等に対する説明、折衝、調整力 部下の育成力 		
課長補佐級 （グループ班長以外）	<p>水道関係技術職として、高い専門能力と幅広い知識を持ち、広い視野で自ら考え行動することができる職員をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高い専門能力と幅広い知識 事業を取り巻く課題に適切に対応するための企画・調整力 		
課長補佐 （グループ班長）	<p>グループ班長として、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務推進するとともに、人材育成のキーパーソンとしての役割を果たす職員をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設事故等緊急時における対応力 グループをマネジメントする能力 		

ジョブローテーション

知識・能力を習得・発揮